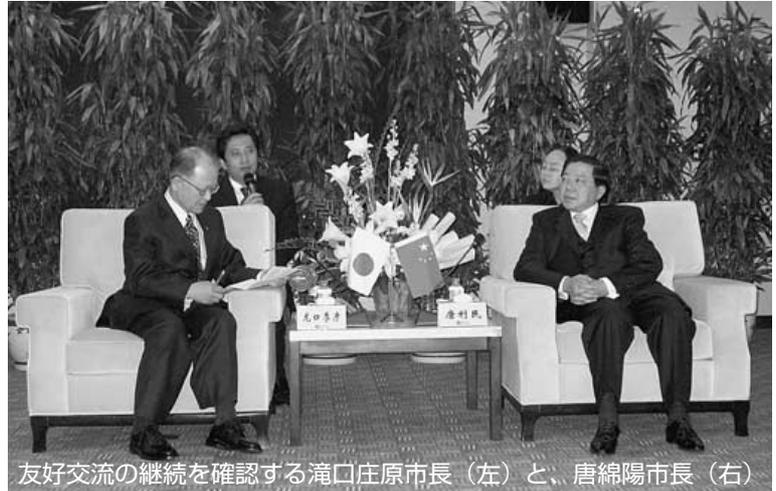


綿陽市の位置図



友好訪問団が 綿陽市を訪問



友好交流の継続を確認する滝口庄原市長（左）と、唐綿陽市長（右）

企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

綿陽市の概要

- 面積 20,249km²
(広島県の約2.4倍、庄原市の約16.2倍)
- 人口 約530万人
- 地形 西北部は山地と丘陵地。一般的に高度海拔500m以上。中部と東南部は浅い丘陵で、平均海拔500m以下。
- 気象 亜熱帯気候。冬温暖で霜期は短く、春の訪れは早く夏は長い。年平均気温は約16℃。年間降雨量は約980mm程度。
- 主要産業 電子工業が中心。国内テレビ市場シェアの20%超を占める長虹電子を筆頭に、多くの企業がある。また、電子科学城などの中国最先端技術の集積地でもある。



パソコンを使った授業を受ける児童

交流を深めた3日間

綿陽市に到着した訪問団は、行政府にあたる綿陽市人民政府と、議会にあたる

11月5日から7日までの3日間、庄原市の友好訪問団6人が、中国四川省の綿陽市を訪れました。庄原市と綿陽市は、旧庄原市が1990年に「経済技術友好協力協定」を締結以降、友好交流を行っています。これまで、両市長らによる公式訪問のほか、小学生や議会関係者の相互訪問などによって友好関係を深めてきました。

人民代表大会・政治協商会議を表敬訪問し、唐利民綿陽市長ら関係者から熱烈的な歓迎を受けました。綿陽市長の歓迎のあいさつに対し、滝口市長は「両市の友好関係の発展を願うことはもちろん、新たな友好の歴史を築くため、庄原市民とともに情熱を傾注したい」とあいさつ。なごやかな雰囲気の中、懇談が行われ、友好交流の継続が確認されました。

国際感覚を養い、人材育成を促進する意味でも継続的な取り組みが必要であるとの認識で一致。来年8月には、庄原市から青少年訪問団を編成し、綿陽市の子どもたちとの交流を行う予定にしています。今回の訪問では、友好協力協定10周年記念事業として、綿陽市に建設（2000年）された綿陽庄原友好小学校を訪れました。同校はIT教育に重点を置いた先進的な学校で、パソコンを使って真剣に授業を受ける児童の姿が印象的でした。